

が「就労の場の確保や就労援助システムの創設」を要望していることから、若者の男性が多いだけに、今後一般就労への移行の援助が必要である。

「一般就労」をしている者や「就学」している者では、家庭での人間関係で「よく言い争いをする」人達が、他の群よりも10ポイント以上高い。仕事をやめた理由として、「対人関係でのトラブル」を第2位にあげていることから、一般的な競争社会へ参加することによって、ストレスの高い環境に置かれることになりかねないことを伺わせる。職場で我慢してきて、家に戻って母親に鬱憤を晴らしている話も良く耳にする。このことから、一般社会に参加できれば良いということではなく、受け入れる一般社会の側にも彼等の障害を理解し、適切な配慮がされるように働きかけていくことが必要である。

3. 高次脳機能障害の状況

認知障害、行動障害の程度については、家族がどう思っているかについて聞いているので、必ずしも、客観的な重症度とは言えない。頭部外傷者が現在置かれている環境によって、その障害の出現の度合いも異なるものと考えられる。しかし、客観的な指標がなく、また、それらを行動観察によって判断する専門家も乏しい状況の中では、日々一緒に生活している家族の「思い」に委ねざるをえないのが現状である。

以上の前提で見た場合、認知障害に関しては、いずれの項目においても75%を越える人たちが後遺症状として感じていることが分かる。特に「学力の低下」「記憶障害」「注意障害」「速度の低下」は85%以上の人に共通で出現する。さらに全体の60%以上の人々が、認知障害の高群に含まれている。一方、行動障害の方は「依存性」「感情の

爆発」「持続性の低下」において75%を越える人たちが共通で指摘しているが、85%を越える項目はなく全体にバラついていて、これは行動障害が認知障害より出現頻度が低いということもあるだろうし、認知障害に比べていくつかのタイプに分かれるために、共通で出現する項目が限られるということもあると推察される。

意識不明の期間が、日常生活の自立度や、認知行動障害の程度、さらには社会参加状況のいずれにも影響を及ぼしていた。特に、日常生活の歩行の自立度を見ると、意識不明の期間が「半月未満」の者は86.4%が自立しているのに、「3か月以上」の者では27.8%しか自立していなかった。一方、認知障害でも、意識不明が「半月未満」の者では高群は52.0%に対し、「3か月以上」の者では高群が75.7%と多かった。しかし、歩行の自立の程度ほどにはその差がなく、意識不明が「半月未満」の者でも半数以上に認知障害が高度に残存していることに注目しておかなければならない。

「何もしていない者」や「福祉的就労」をしている者の方が、「一般就労」している者に比べて、認知障害では「学力の低下」「記憶障害」「注意障害」「速度の低下」、行動障害では「依存性」「持続力の低下」「意欲の低下」がより高度に認められ、これらが社会参加の阻害要因となることが伺われた。しかし、「一般就労」をしている者でも認知障害のいずれの項目でも、3割から4割の人たちが低下が「ある」と感じていることにも注目しなければならない。このことを我々の経験から鑑みると、次の2つの場合が考えられる。ひとつは客観的には、後遺症状そのものは軽度であるが、それでも一般の職場で要求される仕事の中では、認知障害が問題として強く感じられる場合である。もう一つは、実際に認知障害があっても職

場の受入れが良く、彼等に見合った仕事を提供してくれる場合である。

高次脳機能障害に対する訓練は全体の40.9%が「受けたことがない」と答えており、訓練を受ける機会がまだまだ不十分であることが分かるが、「身体障害者手帳がない」者では59.6%が訓練を受けたことがなく、訓練の機会が更に乏しい様子が伺える。ちなみに「名古屋リハ問い合わせ」の人では63.2%が訓練を受けたことがなかった。

高次脳機能障害に関する知識は76.8%の人達が知っていた。医師や病院スタッフ以外にマスコミや出版物、友の会などから情報を得ており、当事者団体が活動を始めてここ2年の間に知識が普及してきていると考えられる。しかし本調査の対象者がもともと当事者団体の会員及び、高次脳機能障害のリハビリテーションに関心の高いリハビリテーションセンターの患者が中心であるということも考慮しなければならない。ちなみに「名古屋リハ問い合わせ」の68名では、これらの知識を「よく知っている」人は2名(2.2%)にすぎず、全体で「よく知っている」人が17.7%いたのに比べ明らかに少なかった。このことから、友の会などの団体やリハビリテーションの専門機関に所属していない頭部外傷者の場合は、訓練を受ける機会もさることながら、情報そのものも少ないことが推察できる。

また、意識を回復した時に脳外科の医師から具体的な説明や訓練施設の紹介などを受けた人は12.2%にとどまっていることから、リハビリテーションが開始される時点で、高次脳機能障害に関する今後の見通しや対応の仕方を説明することがまず必要であろう。しかし紹介できる訓練施設そのものが乏しい現状では、説明する脳外科の医師や、説明を受けた患者の家族が困惑することも想

像に難くない。

4. 悩みや要望

現在困っていることとして、記憶や判断などの認知障害によるトラブルが80.7%と突出していた。また、頭部外傷者の家族は8割近くが精神的なストレスを抱えており、認知障害、行動障害の高度な群ほどそのストレスは明らかに強かった。

平成10年度の「高次脳機能障害者・児における身体障害者福祉法の適用および福祉のあり方について」⁴⁾の研究報告によると、失語症者の場合はコミュニケーションの問題が困ったこととして高率を占めており、健忘症者の場合は仕事に復帰できないことと、経済的な問題が高率を占めている。これらの高次脳機能障害者と比べてみると、頭部外傷者の問題の特徴がこの認知障害、行動障害によるトラブルにあるとも言えよう。

「相談窓口」や「利用できる適切な施設」に関しては、「何もしていない」者に非常に困っている人が多く、また「経済的な問題」に関しては身体障害者手帳の等級が軽いや手帳を所持していない人に困っている人が多く見られた。身体障害者手帳が1、2級の場合は、年金や保険などで保障される場合が多いので、比較的困らないのであろう。身体障害が重い場合には、社会的な援助の方策が既に整備されており、また周囲の理解や援助も得やすいものと考えられる。

これらの「困っていること」や、「精神的なストレス」の原因となっている「高次脳機能障害の認定」が、今後充実してほしいことの第1にあげられ、過半数を越えている。認知障害が高度な群ほど、高次脳機能障害の認定とその後の手帳や年金への反映を望む声が強いのでは当然である。しかし認知障害の高群では、すべての項目で充実への

要望が強く、特に「社会参加の充実」「在宅生活への支援」「将来の生活の場の創設」を7割近くの人達が望んでおり、毎日の生活が家族や周囲の人だけでは支えきれない大変さを抱えていることが伺われるのみならず、将来の生活への不安も高いものと推察される。

「就労の場の確保や就労援助システムの創設」の要望については、既に社会生活の状況で触れたが、それ以外には、「訓練施設やスタッフの充実」や「脳外傷に関する研究の充実」が上位にあげられている。

5. 結語

頭部外傷後の高次脳機能障害者の実態をまとめると、以下ようになる。

頭部外傷者は圧倒的に30代までの若年が多く、日常生活動作はかなり自立しているにもかかわらず、彼等の就労をはじめとした社会参加は困難な状況に置かれている。社会参加を阻む最大の原因は身体機能障害ではなく、高次脳機能障害にあること、またこれが困りごとともなり、家族の精神的ストレスの原因ともなっていることが明らかになった。

このような実態を支援するためには以下の3つの柱で考えていくことが必要であろう。

(1) 高次脳機能障害の認定

障害の実態を正しく認定することで、社会的な理解が得られやすくなる。さらにこの認定が障害者手帳に連動し、各種の福祉的なサービスを受けやすくすると共に、必要なサービスの創設に繋がる可能性が高まる。年金や保険などにも連動し、経済的な保障を受けやすくなる。というようなメリットが想定できる。

しかしこの認定をどのようにするのかは難しい

問題であり、今後この領域での具体的な研究が待たれる。

(2) 高次脳機能障害者のための相談援助機関の養成

頭部外傷後の高次脳機能障害により生ずるトラブルに家族は悩まされ、またそのことにより社会参加が阻害されているが、現状ではそれらの問題に対して相談や具体的な援助をする機関がほとんどない。そのことが、問題を大きくし、家族のストレスを増大させている。彼等の認知障害や行動障害に対する訓練及び対処方法を本人も家族も学んでいかなければならないが、そのためには、援助する専門家や、有効な援助方法が必要である。

援助方法は日本においては、今だ模索段階にあるが、いくつかの施設で実践を積み重ね成果をあげてきているので、今後はこれらのノウハウを公開することによって、彼等の障害に対応できる相談援助機関を広げるとともに、議論を沸き起こし、研究をすすめていくことが必要であろう。しかし、その場合、医療サイドではこれらの訓練が健康保険制度に連動しないために、サービスとして行わざるを得ない状況が病院での取り組みを躊躇させ、これらの訓練をするスタッフの雇用がすすまないということが予想される。また福祉サイドでは手帳の問題がネックになって利用できなかつたり、手がかかると彼等の施設利用を断ってしまうという事態もおこりかねない。財政的、制度的な裏付けをどのように保障していくかも同時に考えていく必要がある。

(3) 地域生活を総合的に支援するシステム作り

頭部外傷後の高次脳機能障害者の問題は本人のみならず、家族にその精神的ストレスが重くのしかかっている。彼等の身体機能はゆっくりと回復

し、就労に至るまでに年月を要している。一般就労をしている人でも、職場でのストレスから家庭内でトラブルを起こしていたり、就職したものの認知障害の問題や対人関係のトラブルから離職に至った人達もいる。さらに福祉的な就労をしている人達は一般就労への移行を願っている。

これらの実態を支援するためには、長期にわたり、本人のみならず家族を含めて総合的に支援していくことが必要である。地域に彼等を支援する

総合拠点を設けることができればよいが、それが難しい場合には、地域の様々な機関が連携して支援していくことになるだろう。また長期的な支援には友の会のような当事者団体の役割が欠かせない。支援機関と当事者団体が連携して、地域の支援システムを作り上げていくことが今後の方向性として考えられる。

(文責：阿部順子)

【参考文献】

- 1) 高村政志 ほか：熊本県頭部外傷データベース－これまでの成果とこれからの課題－, 神経外傷 Neurotraumatology, 21, pp118-124, 1998
- 2) 一ノ瀬尚道 ほか：若年痴呆の実態に関する研究, 平成8年度研究報告書, 平成9年3月
- 3) 名古屋市民生局：身体障害者実態調査報告書, 平成8年5月
- 4) 宇野彰 ほか：高次脳機能障害者・児における身体障害者副司法の適用および福祉のあり方について 平成10年度研究報告書, 平成11年3月

資料 1 単純集計結果

表 1 問2 回答者の続柄

| 親 | 配偶者 | 子 | 兄弟 | その他 | 無回答 | 合計 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|-------|
| 224 | 55 | 13 | 8 | 21 | 6 | 327 |
| 68.6 | 16.8 | 4.0 | 2.4 | 6.4 | 1.8 | 100.0 |

表 2 問3 性別

| 男 | 女 | 合計 |
|------|------|-------|
| 239 | 88 | 327 |
| 73.1 | 26.9 | 100.0 |

表 3 問4 年齢

| 16～19歳 | 20～29歳 | 30～39歳 | 40～49歳 | 50～59歳 | 60～64歳 | 合計 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 29 | 146 | 67 | 36 | 34 | 15 | 327 |
| 8.9 | 44.6 | 20.5 | 11.0 | 10.4 | 4.6 | 100.0 |

表 4 問5 受傷後期間

| 半年未満 | 半年以上 1年未満 | 1年以上 2年未満 | 2年以上 3年未満 | 3年以上 4年未満 | 4年以上 5年未満 | 5年以上 6年未満 | 6年以上 7年未満 | 7年以上 8年未満 | 8年以上 9年未満 |
|------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 15 | 6 | 38 | 49 | 42 | 31 | 22 | 17 | 17 | 18 |
| 4.6 | 1.8 | 11.6 | 15.0 | 12.8 | 9.5 | 6.7 | 5.2 | 5.2 | 5.5 |

| 9年以上 10年未満 | 10年以上 | 無回答 | 合計 |
|---------------|-------|-----|-------|
| 18 | 45 | 9 | 327 |
| 5.5 | 13.8 | 2.8 | 100.0 |

表 5 問6 受傷原因

| 交通事故・ 落下物 | 転落・転倒 | 合計 |
|--------------|-------|-------|
| 288 | 39 | 327 |
| 88.1 | 11.9 | 100.0 |

表 6 問7 意識不明の期間

| 半月未満 | 半月以上 1ヶ月未満 | 1ヶ月以上 2ヶ月未満 | 2ヶ月以上 3ヶ月未満 | 3ヶ月以上 | 無回答 | 合計 |
|------|---------------|----------------|----------------|-------|-----|-------|
| 103 | 75 | 77 | 34 | 36 | 2 | 327 |
| 31.6 | 22.9 | 23.5 | 10.4 | 11.0 | 0.6 | 100.0 |

表 7 問8 救急病院での入院期間

| 入院して いない | 半月未満 | 半月以上 1ヶ月未満 | 1ヶ月以上 2ヶ月未満 | 2ヶ月以上 3ヶ月未満 | 3ヶ月以上 | 無回答 | 合計 |
|-------------|------|---------------|----------------|----------------|-------|-----|-------|
| 5 | 17 | 19 | 52 | 53 | 177 | 4 | 327 |
| 1.5 | 5.2 | 5.8 | 15.9 | 16.2 | 54.2 | 1.2 | 100.0 |

表 8 問9 身体症状

| 片マヒ | 両下肢マヒ | 四肢マヒ | 失調 | てんかん | その他 | 特にない | 無回答 | 回答者数 |
|------|-------|------|------|------|------|------|-----|-------|
| 123 | 18 | 49 | 123 | 53 | 122 | 33 | 1 | 327 |
| 37.6 | 5.5 | 15.0 | 37.6 | 16.2 | 37.3 | 10.1 | 0.3 | 100.0 |

7個までの複数回答

資料1 単純集計結果

表9 問9 麻痺の有無

| 麻痺あり | 麻痺なし | 合計 |
|------|------|-------|
| 173 | 154 | 327 |
| 52.9 | 47.1 | 100.0 |

表10 問10 脳外傷に関連する受診状況

| 脳外科 | 内科 | 神経内科 | リハ科 | 精神科 | その他 | 受診はしていない | 無回答 | 回答者数 |
|------|-----|------|------|------|------|----------|-----|-------|
| 139 | 23 | 30 | 128 | 53 | 34 | 57 | 2 | 327 |
| 42.5 | 7.0 | 9.2 | 39.1 | 16.2 | 10.4 | 17.4 | 0.6 | 100.0 |

6個までの複数回答

表11 問11 障害者手帳の種類

| 身体障害者手帳 | 療育手帳 | 精神保健福祉手帳 | もっていない | 無回答 | 回答者数 |
|---------|------|----------|--------|-----|-------|
| 225 | 16 | 17 | 94 | 1 | 327 |
| 68.8 | 4.9 | 5.2 | 28.7 | 0.3 | 100.0 |

3個までの複数回答

表12 問11 障害者手帳の種類(身体障害者手帳とその他)

| 身体障害者手帳 | その他手帳 | もっていない | 無回答 | 合計 |
|---------|-------|--------|-----|-------|
| 225 | 7 | 94 | 1 | 327 |
| 68.9 | 2.1 | 28.7 | 0.3 | 100.0 |

表13 問11 副 身体障害者手帳の等級(3区分)

| 1~2級 | 3~4級 | 5~6級 | 無回答 | 合計 |
|------|------|------|-----|-------|
| 127 | 45 | 51 | 2 | 225 |
| 56.4 | 20.0 | 22.7 | 0.9 | 100.0 |

表14 問11 ①身体障害者手帳の等級(手帳所持者のみ)

| 1級 | 2級 | 3級 | 4級 | 5級 | 6級 | 無回答 | 合計 |
|------|------|------|-----|------|-----|-----|-------|
| 74 | 53 | 31 | 14 | 32 | 19 | 2 | 225 |
| 32.9 | 23.6 | 13.8 | 6.2 | 14.2 | 8.4 | 0.9 | 100.0 |

表15 問11 ②療育手帳の等級(手帳所持者のみ)

| 1級 | 2級 | 3級 | 4級 | 5級 | 無回答 | 合計 |
|------|------|-----|-----|-----|------|-------|
| 3 | 4 | 0 | 0 | 1 | 8 | 16 |
| 18.8 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 6.3 | 49.9 | 100.0 |

表16 問11 ③精神保健福祉手帳の等級(手帳所持者のみ)

| 1級 | 2級 | 3級 | 合計 |
|------|------|-----|-------|
| 9 | 7 | 1 | 17 |
| 52.9 | 41.2 | 5.9 | 100.0 |

表17 問12 受給している年金や損害保険の種類

| 障害基礎年金 | 障害厚生年金・共済年金 | 労災年金 | 損害保険 | その他 | 受給していない | 無回答 | 回答者数 |
|--------|-------------|------|------|-----|---------|-----|-------|
| 93 | 50 | 25 | 30 | 30 | 143 | 7 | 327 |
| 28.4 | 15.3 | 7.6 | 9.2 | 9.2 | 43.7 | 2.1 | 100.0 |

5個までの複数回答

表 18 問 13 主に生活している場所

| 住 宅 | 病院入院 | 施設入所 | 無回答 | 合 計 |
|------|------|------|-----|-------|
| 277 | 16 | 33 | 1 | 327 |
| 84.7 | 4.9 | 10.1 | 0.3 | 100.0 |

表 19 問 14 入所している施設の種類の種類(問 13 で「施設入所」の人のみ)

| 更生施設 | 授産施設 | 療護施設 | その他 | 合 計 |
|------|------|------|------|-------|
| 21 | 6 | 2 | 4 | 33 |
| 63.6 | 18.2 | 6.1 | 12.1 | 100.0 |

表 20 問 15 ①歩行の状況

| 自 立 | 一部介助 | 全介助 | 無回答 | 合 計 |
|------|------|------|-----|-------|
| 217 | 59 | 36 | 15 | 327 |
| 66.4 | 18.0 | 11.0 | 4.6 | 100.0 |

表 21 問 15 ②食事の状況

| 自 立 | 一部介助 | 全介助 | 無回答 | 合 計 |
|------|------|-----|-----|-------|
| 260 | 41 | 13 | 13 | 327 |
| 79.5 | 12.5 | 4.0 | 4.0 | 100.0 |

表 22 問 15 ③排泄の状況

| 自 立 | 一部介助 | 全介助 | 無回答 | 合 計 |
|------|------|-----|-----|-------|
| 263 | 29 | 22 | 13 | 327 |
| 80.4 | 8.9 | 6.7 | 4.0 | 100.0 |

表 23 問 15 ④入浴の状況

| 自 立 | 一部介助 | 全介助 | 無回答 | 合 計 |
|------|------|------|-----|-------|
| 223 | 57 | 36 | 11 | 327 |
| 68.2 | 17.4 | 11.0 | 3.4 | 100.0 |

表 24 問 15 ⑤衣服の着脱の状況

| 自 立 | 一部介助 | 全介助 | 無回答 | 合 計 |
|------|------|-----|-----|-------|
| 236 | 58 | 22 | 11 | 327 |
| 72.2 | 17.7 | 6.7 | 3.4 | 100.0 |

表 25 問 16 社会参加の状況

| 一般就労 (新規) | 一般就労 (復職) | 自 営 | 福祉的就労 | 就学(新規) | 就学(復学) | 家事手伝い | デイサービ ス | 治療・訓練 中 | 何もしてい ない |
|--------------|--------------|-----|-------|--------|--------|-------|------------|------------|-------------|
| 25 | 23 | 5 | 41 | 16 | 18 | 17 | 10 | 87 | 81 |
| 7.6 | 7.0 | 1.5 | 12.5 | 4.9 | 5.5 | 5.2 | 3.1 | 26.7 | 24.8 |

| 無回答 | 合 計 |
|-----|-------|
| 4 | 327 |
| 1.2 | 100.0 |

表 26 問 16 社会参加の状況

| 一般就労 | 福祉的就労 | 就 学 | 治療・訓練 中 | その他 | 何もして いない | 合 計 |
|------|-------|------|------------|------|-------------|-------|
| 48 | 41 | 34 | 87 | 36 | 81 | 327 |
| 14.7 | 12.5 | 10.4 | 26.6 | 11.0 | 24.8 | 100.0 |

資料1 単純集計結果

表 27 問 17 利用中の保健福祉サービス

| ホームヘルパー | ショートステイ | ガイドヘルパー | 訪問看護 | 訪問リハ | 保健婦訪問 | その他 | 無回答 | 回答者数 |
|---------|---------|---------|------|------|-------|------|------|-------|
| 12 | 11 | 3 | 9 | 5 | 4 | 66 | 231 | 327 |
| 3.7 | 3.4 | 0.9 | 2.8 | 1.5 | 1.2 | 20.2 | 70.6 | 100.0 |

7個までの複数回答

表 28 問 18 家庭での人間関係

| よく言い争いをする | 時々言い争いをする | うまくいっている | 無回答 | 合計 |
|-----------|-----------|----------|-----|-------|
| 39 | 161 | 115 | 12 | 327 |
| 11.9 | 49.2 | 35.2 | 3.7 | 100.0 |

表 29 問 19 家庭外での人間関係

| よくトラブルが起こる | 時にトラブルが起こる | うまくいっている | 無回答 | 合計 |
|------------|------------|----------|-----|-------|
| 14 | 147 | 156 | 10 | 327 |
| 4.3 | 45.0 | 47.6 | 3.1 | 100.0 |

表 30 問 20 友人関係の状況

| 友人はほとんどいない | 友人は少しいる | 友人はたくさんいる | 無回答 | 合計 |
|------------|---------|-----------|-----|-------|
| 107 | 163 | 51 | 6 | 327 |
| 32.7 | 49.9 | 15.6 | 1.8 | 100.0 |

表 31 問 21 休日の過ごし方

| 特にすることがない | 家の中で好きなことをする | 家族で出かけることが多い | 友達と出かけることが多い | 無回答 | 合計 |
|-----------|--------------|--------------|--------------|-----|-------|
| 99 | 129 | 70 | 16 | 13 | 327 |
| 30.3 | 39.4 | 21.4 | 4.9 | 4.0 | 100.0 |

表 32 問 22 規則正しい生活の状況

| ほとんどできていない | なんとかできている | 自分でできている | 無回答 | 合計 |
|------------|-----------|----------|-----|-------|
| 41 | 144 | 132 | 10 | 327 |
| 12.5 | 44.0 | 40.4 | 3.1 | 100.0 |

表 33 問 23 受傷後の就労状況

| 仕事に就いていない | 仕事に就いたがやめた | 仕事を続けている | 無回答 | 合計 |
|-----------|------------|----------|------|-------|
| 178 | 61 | 52 | 36 | 327 |
| 54.4 | 18.7 | 15.9 | 11.0 | 100.0 |

表 34 問 24 仕事をやめた理由(問 23 で「やめた」人のみ)

| 適切な判断ができない | 対人関係トラブル | 気分がムラがある | 仕事が遅い | 仕事がおもしろくない | 仕事が合わない | その他 | 無回答 | 合計 |
|------------|----------|----------|-------|------------|---------|------|-----|-------|
| 21 | 16 | 2 | 7 | 1 | 0 | 13 | 1 | 61 |
| 34.5 | 26.2 | 3.3 | 11.5 | 1.6 | 0.0 | 21.3 | 1.6 | 100.0 |

表 35 問 25 認知障害得点

| 低群 (8～13点) | 中群 (14～19点) | 高群 (20～24点) | 合 計 |
|---------------|----------------|----------------|-------|
| 40 | 84 | 188 | 312 |
| 12.8 | 26.9 | 60.3 | 100.0 |

表 36 問 25 行動障害得点

| 低群 (7～11点) | 中群 (12～16点) | 高群 (17～21点) | 合 計 |
|---------------|----------------|----------------|-------|
| 64 | 120 | 129 | 313 |
| 20.4 | 38.3 | 41.3 | 100.0 |

表 37 問 25 ①漢字や計算、文章等の学力が低下した

| そう思う | やや そう思う | 思わない | 無回答 | 合 計 |
|------|------------|------|-----|-------|
| 209 | 79 | 29 | 10 | 327 |
| 63.8 | 24.2 | 8.9 | 3.1 | 100.0 |

表 38 問 25 ②コミュニケーションがとりにくくなった

| そう思う | やや そう思う | 思わない | 無回答 | 合 計 |
|------|------------|------|-----|-------|
| 141 | 116 | 65 | 5 | 327 |
| 43.1 | 35.5 | 19.9 | 1.5 | 100.0 |

表 39 問 25 ③記憶が悪くなった

| そう思う | やや そう思う | 思わない | 無回答 | 合 計 |
|------|------------|------|-----|-------|
| 211 | 82 | 30 | 4 | 327 |
| 64.5 | 25.1 | 9.2 | 1.2 | 100.0 |

表 40 問 25 ④ミスが増えたり不注意が多くなった

| そう思う | やや そう思う | 思わない | 無回答 | 合 計 |
|------|------------|------|-----|-------|
| 196 | 93 | 30 | 8 | 327 |
| 60.0 | 28.4 | 9.2 | 2.4 | 100.0 |

表 41 問 25 ⑤計画や予定を立てることが難しくなった

| そう思う | やや そう思う | 思わない | 無回答 | 合 計 |
|------|------------|------|-----|-------|
| 186 | 87 | 46 | 8 | 327 |
| 56.9 | 26.6 | 14.1 | 2.4 | 100.0 |

表 42 問 25 ⑥自分で判断することが難しくなった

| そう思う | やや そう思う | 思わない | 無回答 | 合 計 |
|------|------------|------|-----|-------|
| 171 | 102 | 46 | 8 | 327 |
| 52.3 | 31.2 | 14.1 | 2.4 | 100.0 |

表 43 問 25 ⑦同じ失敗を繰り返すようになった

| そう思う | やや そう思う | 思わない | 無回答 | 合 計 |
|------|------------|------|-----|-------|
| 152 | 96 | 70 | 9 | 327 |
| 46.4 | 29.4 | 21.4 | 2.8 | 100.0 |

資料1 単純集計結果

表 44 問 25 ⑧考えたり行動したりすることが遅くなった

| そう思う | やや そう思う | 思わない | 無回答 | 合 計 |
|------|------------|------|-----|-------|
| 228 | 64 | 29 | 6 | 327 |
| 69.7 | 19.6 | 8.9 | 1.8 | 100.0 |

表 45 問 25 ⑨こどもっぽくなったり依存的になった

| そう思う | やや そう思う | 思わない | 無回答 | 合 計 |
|------|------------|------|-----|-------|
| 189 | 85 | 48 | 5 | 327 |
| 57.8 | 26.0 | 14.7 | 1.5 | 100.0 |

表 46 問 25 ⑩些細なことで怒り感情が爆発するようになった

| そう思う | やや そう思う | 思わない | 無回答 | 合 計 |
|------|------------|------|-----|-------|
| 137 | 109 | 75 | 6 | 327 |
| 42.0 | 33.3 | 22.9 | 1.8 | 100.0 |

表 47 問 25 ⑪我慢できないようになった

| そう思う | やや そう思う | 思わない | 無回答 | 合 計 |
|------|------------|------|-----|-------|
| 78 | 104 | 140 | 5 | 327 |
| 23.9 | 31.8 | 42.8 | 1.5 | 100.0 |

表 48 問 25 ⑫相手の気持ちが分からず人付き合いが下手になった

| そう思う | やや そう思う | 思わない | 無回答 | 合 計 |
|------|------------|------|-----|-------|
| 123 | 114 | 82 | 8 | 327 |
| 37.6 | 34.9 | 25.1 | 2.4 | 100.0 |

表 49 問 25 ⑬気になることがあるといつまでもこだわるようになった

| そう思う | やや そう思う | 思わない | 無回答 | 合 計 |
|------|------------|------|-----|-------|
| 154 | 83 | 82 | 8 | 327 |
| 47.1 | 25.4 | 25.1 | 2.4 | 100.0 |

表 50 問 25 ⑭あきっぽくなり持続することが難しくなった

| そう思う | やや そう思う | 思わない | 無回答 | 合 計 |
|------|------------|------|-----|-------|
| 159 | 97 | 66 | 5 | 327 |
| 48.6 | 29.7 | 20.2 | 1.5 | 100.0 |

表 51 問 25 ⑮ボーッとしているなど意欲がなくなった

| そう思う | やや そう思う | 思わない | 無回答 | 合 計 |
|------|------------|------|-----|-------|
| 136 | 102 | 85 | 4 | 327 |
| 41.6 | 31.2 | 26.0 | 1.2 | 100.0 |

表 52 問 26 後遺症に関する訓練の状況

| 十分な訓練 を受けた | 少し訓練を 受けた | 受けたこと はない | 無回答 | 合 計 |
|---------------|--------------|--------------|-----|-------|
| 53 | 131 | 134 | 9 | 327 |
| 16.2 | 40.1 | 40.9 | 2.8 | 100.0 |

表 53 問 27 後遺症に関する知識の状況

| よく知っている | 少し知っている | ほとんど知らない | 無回答 | 合計 |
|---------|---------|----------|-----|-------|
| 58 | 193 | 72 | 4 | 327 |
| 17.7 | 59.1 | 22.0 | 1.2 | 100.0 |

表 54 問 28 後遺症に関する知識を得たきっかけ(5区分)

| 医師 | 病院のスタッフ | その他機関のスタッフ | マスコミや出版物 | 友の会活動 | 無回答 | 回答者数 |
|------|---------|------------|----------|-------|-----|-------|
| 209 | 176 | 72 | 171 | 139 | 1 | 251 |
| 83.3 | 70.1 | 28.7 | 68.1 | 55.4 | 0.4 | 100.0 |

表 55 問 28 後遺症に関する知識を得たきっかけ

| 脳外科 | リハ科 | 精神科 | その他の医師 | PT | OT | ST | 心理 | 看護婦 | ワーカー |
|------|------|------|--------|------|------|------|------|------|------|
| 101 | 141 | 45 | 34 | 69 | 71 | 67 | 100 | 42 | 49 |
| 40.2 | 56.2 | 17.9 | 13.5 | 27.5 | 28.3 | 26.7 | 39.8 | 16.7 | 19.5 |

| その他病院スタッフ | 施設の指導員 | 職業の指導員 | 職業センターのカウンセラー | その他の機関スタッフ | テレビ | 新聞 | 冊子「いっしょにがんばろう」 | その他の出版物 | 仲間から |
|-----------|--------|--------|---------------|------------|------|------|----------------|---------|------|
| 16 | 47 | 16 | 6 | 13 | 78 | 95 | 82 | 65 | 51 |
| 6.4 | 18.7 | 6.4 | 2.4 | 5.2 | 31.1 | 37.8 | 32.7 | 25.9 | 20.3 |

| 講演会 | 機関誌 | その他友の会活動 | 無回答 | 回答者数 |
|------|------|----------|-----|-------|
| 61 | 81 | 18 | 1 | 251 |
| 24.3 | 32.3 | 7.2 | 0.4 | 100.0 |

23 個までの複数回答

表 56 問 29 意識を回復した時脳外科医からうけた後遺症の説明

| 何も言われなかった | 分からないと言われた | 弱っていくかもしれないと言われた | 後遺症が残ると言われた | だんだん良くなると言われた | 良くなってよかった | 説明があり訓練施設を紹介してくれた | その他 | 無回答 | 合計 |
|-----------|------------|------------------|-------------|---------------|-----------|-------------------|-----|-----|-------|
| 35 | 48 | 31 | 129 | 11 | 8 | 40 | 22 | 3 | 327 |
| 10.7 | 14.7 | 9.5 | 39.5 | 3.4 | 2.4 | 12.2 | 6.7 | 0.9 | 100.0 |

表 57 問 30 後遺症状についての弁護士への相談状況

| 法的に認定された | 理解してもらったが法的に認定されなかった | 理解されなかった | 相談しなかった | 無回答 | 合計 |
|----------|----------------------|----------|---------|-----|-------|
| 21 | 18 | 10 | 250 | 28 | 327 |
| 6.4 | 5.5 | 3.1 | 76.4 | 8.6 | 100.0 |

表 58 問 31 ①問題行動や精神症状によるトラブル

| 非常に困っている | やや困っている | 困っていない | 無回答 | 合計 |
|----------|---------|--------|-----|-------|
| 63 | 114 | 131 | 19 | 327 |
| 19.3 | 34.9 | 40.0 | 5.8 | 100.0 |

資料1 単純集計結果

表 59 問 31 ②記憶や判断などの障害によるトラブル

| 非常に困っている | やや困っている | 困っていない | 無回答 | 合計 |
|----------|---------|--------|-----|-------|
| 116 | 148 | 52 | 11 | 327 |
| 35.5 | 45.2 | 15.9 | 3.4 | 100.0 |

表 60 問 31 ③経済状態

| 非常に困っている | やや困っている | 困っていない | 無回答 | 合計 |
|----------|---------|--------|-----|-------|
| 56 | 111 | 145 | 15 | 327 |
| 17.1 | 33.9 | 44.4 | 4.6 | 100.0 |

表 61 問 31 ④介護力(人)

| 非常に困っている | やや困っている | 困っていない | 無回答 | 合計 |
|----------|---------|--------|-----|-------|
| 33 | 99 | 177 | 18 | 327 |
| 10.1 | 30.3 | 54.1 | 5.5 | 100.0 |

表 62 問 31 ⑤利用できる適切な施設

| 非常に困っている | やや困っている | 困っていない | 無回答 | 合計 |
|----------|---------|--------|-----|-------|
| 78 | 96 | 131 | 22 | 327 |
| 23.9 | 29.4 | 40.0 | 6.7 | 100.0 |

表 63 問 31 ⑥相談する窓口や情報

| 非常に困っている | やや困っている | 困っていない | 無回答 | 合計 |
|----------|---------|--------|-----|-------|
| 79 | 129 | 101 | 18 | 327 |
| 24.2 | 39.4 | 30.9 | 5.5 | 100.0 |

表 64 問 31 ⑦理解してくれる医師等

| 非常に困っている | やや困っている | 困っていない | 無回答 | 合計 |
|----------|---------|--------|-----|-------|
| 50 | 105 | 149 | 23 | 327 |
| 15.3 | 32.1 | 45.6 | 7.0 | 100.0 |

表 65 問 31 ⑧症状の悪化

| 非常に困っている | やや困っている | 困っていない | 無回答 | 合計 |
|----------|---------|--------|-----|-------|
| 15 | 101 | 191 | 20 | 327 |
| 4.6 | 30.9 | 58.4 | 6.1 | 100.0 |

表 66 問 31 ⑨示談や補償問題

| 非常に困っている | やや困っている | 困っていない | 無回答 | 合計 |
|----------|---------|--------|-----|-------|
| 55 | 36 | 208 | 28 | 327 |
| 16.8 | 11.0 | 63.6 | 8.6 | 100.0 |

表 67 問 31 ⑩その他

| 非常に困っている | やや困っている | 困っていない | 無回答 | 合計 |
|----------|---------|--------|------|-------|
| 49 | 21 | 33 | 224 | 327 |
| 15.0 | 6.4 | 10.1 | 68.5 | 100.0 |

表 68 問 32 介護者の精神的ストレスの有無

| 非常にある | ややある | ほとんどない | 無回答 | 合計 |
|-------|------|--------|-----|-------|
| 96 | 162 | 40 | 29 | 327 |
| 29.4 | 49.5 | 12.2 | 8.9 | 100.0 |

表 69 問 33 介護者の精神的ストレス原因(問 32 で「非常にある」、「ややある」と回答した人のみ)

| 本人の性格が変わった | 感情の爆発起こす | 本人が悩んで落ち込む | 障害を分かっている | 経済観念に乏しくなった | 喧嘩などトラブル起こす | 家でブラブラしている | 周囲が理解してくれない | その他 | 無回答 |
|------------|----------|------------|-----------|-------------|-------------|------------|-------------|------|-----|
| 146 | 118 | 82 | 146 | 61 | 20 | 78 | 94 | 55 | 3 |
| 56.6 | 45.7 | 31.8 | 56.6 | 23.6 | 7.8 | 30.2 | 36.4 | 21.3 | 1.2 |

9個までの複数回答

| 回答者数 |
|-------|
| 258 |
| 100.0 |

表 70 問 34 周囲にいる援助者

| 家族や周囲の人 | リハ関係者 | 友の会の仲間 | その他 | いない | 無回答 | 回答者数 |
|---------|-------|--------|------|------|-----|-------|
| 264 | 89 | 55 | 38 | 36 | 7 | 327 |
| 80.7 | 27.2 | 16.8 | 11.6 | 11.0 | 2.1 | 100.0 |

4個までの複数回答

表 71 問 35 今後充実してほしいこと

| 高次脳機能障害の認定 | 訓練施設やスタッフの充実 | 相談窓口 | 在宅生活の支援 | 社会参加の充実 | 就労の場の確保等 | 将来の生活の場の創設 | 友の会の充実 | 研究の充実 | 社会に対する啓発活動 |
|------------|--------------|------|---------|---------|----------|------------|--------|-------|------------|
| 165 | 110 | 73 | 44 | 89 | 146 | 89 | 34 | 100 | 38 |
| 50.5 | 33.6 | 22.3 | 13.5 | 27.2 | 44.6 | 27.2 | 10.4 | 30.6 | 11.6 |

| その他 | 無回答 | 回答者数 |
|-----|-----|-------|
| 10 | 9 | 327 |
| 3.1 | 2.8 | 100.0 |

3個までの複数回答

資料 2 自由記述回答 (抜粋)

◆ 受傷後の就労状況 (問 23、問 24)

| 設問 | 記述 |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 問23 | <p>転職をくりかえしている。</p> <p>◇てんかんの発作が出るようになり、会社が休職にし、その後働く職場がないからと、辞職を余儀なくされました。</p> <p>◇もの覚えが悪いことで、いろいろ支障が出るようになりました。</p> <p>◇てんかんの為、車を運転できずに仕事がむずかしくなった。</p> <p>◇現在も、仕事に行っているが、覚えが悪く体調不良で動作が遅いため、いろいろ言われ、ストレスがたまっている。</p> <p>8代続いている家の嫁としての務め、身障(視力と心臓)の姑の介護、稲作、野菜作り、もちろん主婦として今までしていた事が少しでも出来る様になるのか。と希望を持っていたのはいつの頃だったのか……。今は長女一家と(車で30分)一緒に住んでいるので、生活するには母は困らないが家に戻る予定。(姑も老健施設に入所しているけれど)40年程前に父親も頭部に大ケガをして何とか命は助かり、その後はたいへんだった様で(母が事故になっておばから詳しく聞かされた)現在は基本的な生活は送れるが、バスの乗り方や、振り込み、稲作、野菜作り等、手紙やハガキの内容すら理解できずにそのたび私が呼ばれます。浅い知識の中で父もおそらく高次脳機能障害だったかなと母をみて思います。ウンウンと返事は良いが後で確認するとまるでダメで、よく母がこぼしていたのを思い出します。これから、こういう母と父と身障の祖母をかかえて何が、自分に出来るのか自分の家庭もあるし、考え出すと身体中重くなるのでやめます。自分が生きてさえいれば何とかかなるかな!!</p> |
| 問24 | <p>事故前は看護婦をしていました。本人はもう一度看護婦をしたいと必死にリハビリをし、ありとあらゆる物事に挑戦し7年にしてようやく一人であちこち外出できるようになりました。今は映画、美術館等一人でも行けるようになりました。しかし職業に何ら結びつきません。なんとか一日も早く社会参加出来ないかと本人親とも頑張ってきました!職安も何回か行きましたが、もう少しリハビリを頑張ってくださいと言われるだけで、紹介してもらおう所まで行きません。本人はすごく努力家です。どうしたら職業に就く事が出来るのでしょうか。</p> |

◆ 現在困っていること (問 31)

| 設問 | 記述 |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 問31 | <p>一家の主婦であり一児の母であるが子供の成長に伴い養育が困難であるので今後どう対応すべきか</p> <p>トイレ台所迄ひっついてきて母親からはなれない。母親が外出するのを極端に嫌い買い物にも行けず、弁当をとっている。日中は、ずっと母親の部屋にいて、10cmとはなれずひっついていて。母親の体調が悪く、ねていても、テレビの音を大きくして聞き、小さくするように言ってもきかず、母親は昼夜をとわず、耳栓をしている。</p> <p>家族は、精神的に疲れてしまいました。下の弟にまで問題が出てしまい、気が安まる日がありません。事故の示談、その後、入院させる迄もいろいろな事が重なってしまい、私自身も、疲れきってしまいました。もう、何も考える事も出来ません。</p> <p>緊急時受け入れる施設がない。介護人の家族が急病になった時非常に困った。</p> |

◆ 介護者の精神的ストレス (問 33)

| 設問 | 記述 |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 問33 | 歩行が困難になった時の介護とか、親が介護できなくなったときのことを考えることでストレスになっている。 |
| | 時間や日にちの感覚がなく、何度も同じ説明をしなければならず、疲れきってしまう。 |
| | 実家や親戚の人たちに障害の事をわかってほしい、いつまでも仕事をしないと、口には出さないけど (一寸はある?) なまけ者扱いが辛い。 |
| | 介護ばかりで、家族も体調が良くない、私 (娘、24歳) は仕事を辞め、介護をしているが、復帰できる見通しがたたない。 |
| | 就労しているが職場での人間関係や仕事があまくいっているかどうかいつも心配しています |
| | 普通の会話は常人と変らないので忘れることが責任のがれの様にとられる。3才の娘の母で今後保育園、小学校と進むと対応できない。今現在は生家へ本人と子供をあずかり面倒をみている (2ヶ月程前から) 夫は時々逢いに来るていど |
| | 自分の思う様に介護してもらえるのが当たり前のように考えているので、介護する方に思うようにしてもらえないと言葉使いが乱暴になり、感情的になる。いつも叱られている様で辛い面があります。 |
| | 大勢の他人の前でも感情の爆発を起こす、身体的に見た目には、異常がない為まわりの理解がえられず甘やかしていると思われる |
| | 自分の立場や状況がわからない。他人の気持ちがわからない。日常生活の基本的な事が出来ない。思い込みが激しく、言って聞かせてもわからない。 |
| | どの様に親がかかわればより回復するか考えるので、ストレスになる (参考になる本とか話を聞きたい) |
| | ◇女性の気持ちも考えず一方的に、自分の気持ちを口に出して (はずかしい感情なし) 言ったり行動に表わすので迷惑している。その為、箱折りや玉さし部門から、パソコン (ワープロ) の方へ配置換えになりました。ここは男性ばかりです。 |
| | ◇時間の観念がない。 |
| | ◇食べ物に対して異常な執着がある。 |
| | 頭部外傷 (左脳の前頭葉、側頭葉萎縮) と診断されたのが1996年の秋 (本人45才) のことで、あちこちの病院を転院して17年目のことです。それまでは精神科で親の養育態度に問題があると指摘され、父親はありとあらゆる努力をしましたが、改善されず真実を知らぬまま亡くなり、家庭として将来設計が出来ずにいます。 |
| | 現状としてたいへん困っています。入院していた、脳外科では理解してもらえず、リハビリセンターで、始めて高次脳機能障害とわかりました。まだ、自分の脳がどうなってしまったか、リハ科でも不明な点が多く、しばらく通院する様言われましたが、スタッフの先生が人数もない事と、私の家の経済状態も悪く、かと言って、このままの状態では私自身の仕事など、とてもありません。今まで通っていたリハビリセンターでは、担当の先生が長期の休みのため、現在、リハビリも休んでいますので、いろいろな問題を相談するところがなく、困っています。調査報告、どうぞ宜しくお願いします。 |
| | 日常生活を一々指示しないとやらないので (訓練不足とは思いますが) 留守に出来ない。 |
| | 独特の清潔感があって (実際には汚くなくても) 汚いと思うと触れないので、家の中でも触れない物が多く自分で何もしない。(出来ないと本人は言う) 衣服の着脱も自分ではしない。 |
| | 今入院している病院は閉鎖病棟なのでリハビリも何もありません。(精神病院) 可愛そうなので退院させて家でみてやろうと思うのですが、医師や保健所の精神福祉相談員の方は毎日の介護が大変で家族が倒れるとよけい可愛そうだから入院させて外泊をさせてあげなさいと言われました。 |
| | 日常生活の基準に達しているからと細かいリハビリを受けさせてもらえない。 |

| 設問 | 記述 |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 問33 | <p>◇外出は思う様に出来ない</p> <p>◇やる気が起こらない(すべてに関して)ので、声をかけると、とり乱したり、口をきかなくなる。ウンともスンとも言わずじょっぱると言うか、ダマリ込まれるので、イライラする。そうかと思うとやたらに明るくなりこちらがバカにされている様な気分になり不愉快になる事が多い。</p> <p>◇医者や看護婦も含めわかってきていないなと感じる事がたびたびで病院に行くのが辛い。</p> <p>◇親せきや妹、近所の人に理解してほしいが伝える事にエネルギーがいる。変な受けとめをされた事もあった。</p> <p>◇突然母が怖いと思う様になったというか感じる様になり、背を向けていれなくなった。必ず対面している様になった。時々顔つきが変わり目がキラッと光ると言うか、目をみひらいてニコニコしているがほほえんでいるのではなく異様な感じで上手に説明できないがぶきみに思う様になった。(今年の12月上旬頃から)</p> <p>◇お金が分からないのかも。千円札を細かくたたんでゴミに捨てた。よくたためたと感心する程上手だった。</p> <p>◇自分勝手に(人に言われたみたいで)入院中に餅がどっさり届いた事があった。</p> |

◆ 今後特に充実してほしい事項(問35)

| 設問 | 記述 |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 問35 | <p>軽症の様に思われ復職しておりますが、仕事は以前の半分、間違いも結構多い様で自分も悩みます。現在の様な不況下の解雇をも考えるとやり切れません。親は子供より長生きは出来ません、妹がおりますが妹に姉の生涯をまかせるのも残酷に思います。親なき後の生活の場の創設を強く望み願っております。</p> <p>名古屋まで経済的な面並びに身体的なもので、何かあっても(行事等)行けませんので山口県でも支部が出来たら、いいなあと思いますので、山口県の方の住所氏名を教えてください、みんなで連絡を取り合い、支部という事を念頭において、考え合いたいと思います。早くから支部発足を前向きにと考えています。世の中には、私たちのような方がたくさんおいでの事と思います。よろしくおねがいいたします。</p> <p>母親の私が留守の間の出来事で、当時、夫と他の一人とが屋根の工事をして居り、部屋内で一人遊びをしていた乳児の頭に材木の切れ端が当たったとの事でした。(後で聞きました。)本人には此の事は言って有りません。夫も今は亡くなり、其の時の事は詳しく分りません。其の時医師の診察は受けておりません。年令が高く成る迄余り気にしておりませんでした。小学校高学年、中学校と登校拒否をしたり、高校生になっても夜尿が直らなかつたり、社会に出て次々と転職したり、お金を全部使つたり、クレジットで次々と品物を購入したり、家の金、品を持出したりと、色々問題行動があります。幼児の時の頭の怪我が原因ではないかと、ずっと悩んでおります。どうかよろしくお願い致します。(以上の事柄と脳に障害があると言う事は関係ない事を願いつゝ筆を取りました。)</p> <p>心から相談出来る専門医がない。追記この種のものでも、つながりを感じ、心安まる感じが致します。</p> <p>今一番の悩みは2つあります。</p> <p>①本人はとても望んでいるのですが、年相応の友人関係が持てないこと。普通の高校生がしているように、友達とカラオケに行ったり、どこかへ遊びに行ったりしたい様ですが、学校の時間内に言葉をかわず程度でそういったつきあいは全くありません。</p> <p>②本人も将来の職業について話すのですが、それが全く不可能な職業ばかり望んで困っています。親がそれを否定すると、すごく怒り出し感情が爆発します。自分の能力を全くわかっていなく、出来るような気がしているようです。本人もそれなりに満足でき、何か可能な仕事があるといいのですが。</p> <p>脳外科とリハ科の連携強化、・脳外科での“ちゆ”と言われても、本人の状態を考えると介護者としてどうして良いか、不安なまゝ次のステップへ進む為、患者共々、不安定な状況が回復に良くない。</p> |

| 設問 | 記述 |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 問35 | <p>現在まだ意識回復が出来ていない為、質問事項全部について回答出来ないの、出来るもののみ回答しました。私共の様な遷延性意識障害者をもつ家族の会が愛知県にも出来たらとせつに希望しています。</p> <p>全て必要で、全てに立ち遅れているのではないのでしょうか？大変不遜な物言いですが、当方の場合は、事故後三十年近く経っているので、〇〇病院の神経内科に行っても投薬だけでリハビリの方向性がかめず〇〇〇〇医大のリハビリテーション科では「三十年も経過してどうして？」と怪訝な対応で、癒やされません。医学、福祉のみならず、マスコミ含めての支援をお願いしたいと考えております。</p> <p>脳外傷に関する、精神障害の取扱い（保険会社）が確定していないように思えます。骨折とか外部から判断出来る障害に対しては、明確に保障等判定出来るが、そのように精神的障害も早くランク付のような方法を明らかにして保障等が明確に出来るようにしてほしい。</p> <p>障害の程度により上記事項充実には違いがあると思います。当事者（本人）達の人権が守られるような法制度をつくってほしい。</p> <p>医師の知識不足、もっと医者は脳外傷者に対して勉強して欲しい。（とくに認定医）</p> |

◆ その他

| 設問 | 記述 |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| その他 | <p>◇脳の障害について、リハビリをしてくれる施設がなく、身体のリハビリ病院でも、年齢的なことから、健忘症や痴呆扱いをされ、リハビリの効果がでないといわれて悩んでいます。</p> <p>◇“てんかん”が起こると寝たきりになり、肺炎等を併発しないかと心配し、乗り切っても歩けなくなっていて「てんかん」がこわくて日常生活をどのように暮らしていったらいいのか将来が不安です。専門的知識のある方に相談できる所がなく、つい書いてしまいました。今後、社会的にもっと広く認めてもらえるよう、がんばってください。</p> <p>事故日 平成〇年9月 A医大病院へ入院。（脳挫傷）ICUで脳低体温療法。14日間。一般病棟へ。記憶障害・言語障害・右不全マヒ（脳神経科）。12月 B病院へ転院（リハビリ科）。翌年 B病院を退院（入院中ケイレン発作2度あり）。B病院へ、リハビリの為通院。同年6月からCセンターへ通所。Cセンター終了後、D技能開発学院へ通所（3年間）。退院後6～7回ケイレン発作があり、救急車を2度依頼。最近でも、発作は3～4分でその後、30分以上意識がなくなり、失禁もしています。どんどんひどくなっていく様です。担当医のお話では「若いから脳が活発に働いているからでしょう」との事。現在、薬を1日、朝晩2錠づつ服用しています。入院中から食べることに執着、多い時は1日5～6回の食事をしていました。嗜好も変わり辛い物、炭酸、熱い物は全部ダメです。そのせいか事故前に比べ一時は20kg増。性的不能では無いのですが、意味が分かっていない。本人は結婚の予定でしたが、その元婚約者の額へのキスも出来ない。本人に「何で彼女の額にキス出来ないの？」と聞いたら、「恥ずかしい」との事。彼女も「全然、分かってない。今は、彼というより弟みたい。」との事。現在、彼女には、金銭的に家賃の補助をして、その代わり月1度遊んで貰っています。（1人で賃貸の1ルームマンションに住んでいる為）本人に「年齢は？」と聞くと「ちゃんちゃい」最近「さんさい」現在23才です。声のトーンが高くなった。寂しがる。不安がる。就寝前は私（母）に「おでこにチューして」といいます。キスしてあげると安心出来る様です。「僕お父さんも大好き」と父親の頬にもキスします。大きな幼児です。</p> <p>医師の診断。後遺症として残る。意欲がない。やる気がない。記憶がない。今日、昨日のことを忘れる。（事故前後は全くおぼえがない。何年も前のこともおぼえがない。）昔のことはおぼえている。感情失禁。すぐ泣く、怒る、声を出して笑うことはない。尿失禁。すぐ出てしまうらしい。入院継続。継続治療が必要。改善の見通しは非常に低いと言われた。今後何らかの治療方法があれば教えて頂きたいと思ひます。よろしく願ひ致します。</p> <p>就職がむずかしく将来1人で生きていくのはむずかしいのに年金を一銭もいただけないばかりか、年金を1人前に支払わなければいけないのにはいきどおりを感じます。せめてもらえないなら支払はなくてもいい様になってくれたらどんなにか助かるかと思ひます。高次脳機能障害を認定し年金への反映をもっと充実して欲しいと切に思ひます。</p> |

資料 3 実態調査調査票

頭部外傷後の高次脳機能障害者の実態調査

についてのお願ひ

平成11年2月

各位

名古屋市総合リハビリテーションセンター
脳外傷リハビリテーション研究会

この調査は厚生省科学研究費の助成により、頭部外傷後の後遺症状について、特に高次脳機能障害に着目し、その経過や現在の状況、生活実態、悩みや要望などを把握し、医療・福祉における今後の改善策を明らかにして、広く社会に提言することを目的に実施するものです。

この調査は、結果の集計や分析はすべてコンピューターによって統計的に処理しますので、個人の回答の内容が外類に知られることはありません。

調査結果は6月末までに報告書にまとめ、関係機関などに配布する予定です。また、回答をいただいた方には、無料で郵送させていただきますので、同封の返信用封筒に入れ、期日までに投函して下さいます。

なお、調査は、匿名をお持ちの方のご家族（主として介護にあたっておられる方）にお聞きするような質問になっております。ご家族の方は、ご多忙のところ誠にご面倒ですが、この調査の趣旨をご理解いただきまして、ご協力くださいますようお願いいたします。

この調査についてのお問い合わせがございましたら、下記までご連絡下さい。

名古屋市総合リハビリテーションセンター 担当：心理
〒467-8622
名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1-2
電話 (052)835-3811 (内線 411)
FAX (052)835-3745

※この調査にご協力いただくのは、下記の機関、団体です。複数の機関や団体に所属ないしは相談をされているような方には、同様のアンケートが2通届くこともあるかと思っております。そのような場合には1通のみご回答いただき、もう1通を廃棄して下さい。

神奈川県総合リハビリテーションセンター
横浜市総合リハビリテーションセンター
埼玉県総合リハビリテーションセンター
脳外傷友の会「みずほ」
脳外傷友の会「ナナ」
脳外傷友の会「ロボックル」
頭部外傷や病気になる後遺症をもつ若者と家族の会

名古屋市総合リハビリテーションセンター
脳外傷リハビリテーション研究会

頭部外傷後の高次脳機能障害者の実態調査 調査票

(平成11年2月)

【調査票返送のお願ひ】

この調査票は、各段間に回答した後、同封の返信用封筒に入れ、期日までに投函して下さい。

回答期限：平成11年2月15日

【記入上のお願ひ】

1. 回答は、基本的には、あてはまる番号を○で囲んで下さい。
1つだけに○をする場合
3つまで○をする場合
当てはまるもの全てに○をする場合、があります。
2. () があるところには、必要なことがらを記入して下さい。

【問い合わせ先】

この調査についてのお問い合わせがございましたら、下記までご連絡下さい。

名古屋市総合リハビリテーションセンター 担当：心理
〒467-8622
名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1-2
電話 (052)835-3811 (内線411)
FAX (052)835-3745

頭部外傷後の高次機能障害者の実態調査・調査票

【障害をお持ちの方についてお尋ねします】

- 問1 障害をお持ちの本人の名前は：())
- 問2 アンケートにお答え下さった方は、ご本人(障害をお持ちの方)の： 1つに○
 1 親 2 配偶者 3 子 4 兄弟 5 その他())
- 問3 性別は： 1 男 2 女 1つに○
- 問4 生年月日は： S, H () 年 () 月 () 日
- 問5 けがをしたのは： S, H () 年 () 月 () 日
- 問6 けがをした原因は： 1つに○
 1 交通事故 2 転落・転倒 3 落下物 4 その他
- 問7 意識不明の期間は： 1つに○
 1 意識不明はなし 2 0.5か月未満 3 0.5か月以上～1か月未満
 4 1か月以上～2か月未満 5 2か月以上～3か月未満 6 3か月以上
- 問8 救急病院での入院期間は： 1つに○
 1 入院していない 2 0.5か月未満 3 0.5か月以上～1か月未満
 4 1か月以上～2か月未満 5 2か月以上～3か月未満 6 3か月以上
- 問9 現在みられる身体に関する症状は： 当てはまるもの全てに○
 1 片マヒ 2 両下肢マヒ 3 四肢マヒ 4 失調(ふらつき)
 5 てんかん 6 その他()) 7 持たない
- 問10 現在、脳外傷に関連して定期的に受診しているところは： 当てはまるもの全てに○
 1 脳外科 2 内科 3 神経内科 4 リハ科 5 精神科 6 その他
 7 受診はしていない
- 問11 お持ちの障害者手帳の種類と等級は： 当てはまるもの全てに○
 1 身体障害者手帳() 級 2 療育手帳() 級(度)
 3 精神保健福祉手帳() 級 4 持っていない

問12 本人が受給している年金や損害保険などの収入(給付は除く)は： 当てはまるもの全てに○

- 1 障害基礎年金 2 障害厚生年金・共済年金 3 労災年金
 4 損害保険 5 その他()) 6 受給していない

【現在の生活の状況について、当てはまるところに○印を付けて下さい】

問13 現在、主に生活している場所は： 1つに○
 1 住宅 2 病院入院 3 施設入所

問14 前問で、3に○をした方のみお答え下さい。入所している施設は： 1つに○
 1 更生施設 2 授産施設 3 療養施設 4 その他

問15 身辺処理に関して自分で出来る程度は：

- 自立している場合は、 1 に
 一部介助の場合は、 2 に
 全介助の場合は、 3 に○をして下さい。

| | 回答欄 | | |
|-------|-----|---|---|
| 歩行 | 1 | 2 | 3 |
| 食事 | 1 | 2 | 3 |
| 排泄 | 1 | 2 | 3 |
| 入浴 | 1 | 2 | 3 |
| 衣服の着脱 | 1 | 2 | 3 |

それぞれ1つに○

問16 現在の社会参加状況は： 1つに○

- 1 一般就労(新規) 2 一般就労(復職) 3 自営 4 福祉的就労(授産等)
 5 就学(新規) 6 就学(復学) 7 家事手伝い 8 デイサービス
 9 治療・訓練中 10 なにもしていない

問17 現在、上記以外で利用されている保健・福祉サービスは： 当てはまるもの全てに○

- 1 ホームヘルパー 2 ショートステイ 3 ガイドヘルパー
 4 訪問看護 5 訪問リハ 6 保健婦訪問 7 その他())

問18 家庭での人間関係は： 1つに○

- 1 よく言い争いをする 2 時に言い争いをする 3 うまくいっている

問 19 家庭外での人間関係は 1つに○
 1 よくトラブルが起る 2 時にトラブルが起る 3 うまくいっている

問 20 友人関係は 1つに○
 1 友人はほとんどいない 2 友人は少しいる 3 友人はたくさんいる

問 21 休日の過ごし方は 1つに○
 1 特にすることがなくポーンと過ごす
 2 家の中で自分の好きなことをして過ごすことが多い
 3 一人または家族と出かけることが多い
 4 友達と出かけることが多い

問 22 規則正しい生活は 1つに○
 1 家族に言われてもほとんどできていない
 2 家族に言われてなんとかできている
 3 家族に言われなくても自分でできている

問 23 けがをした後の仕事について 1つに○
 1 仕事に行っていない 2 仕事に行ったがやめた 3 仕事を続けている

問 24 前問で、2に○をした方のみお答え下さい。その理由は：
 1 仕事上でミスがあったり、適切な判断が出来ない
 2 対人関係のトラブル
 3 自分にムラがあり続かない
 4 仕事が悪い
 5 仕事がおもしろくない
 6 仕事が終わらない
 7 その他 ()

【後遺症状（高次脳機能障害）についてお尋ねします】

問 25 けがをす前と今とでどのような点に変化がありましたか、各項目についてお答え下さい。
 そう思う場合は、 1 に
 ややそう思う場合は、 2 に
 思わない場合は、 3 に○をして下さい。

| 問 | 回答欄 |
|------------------------------------------------------|-------|
| ① 漢字や計算が苦手になったり、文章がうまく書けないなど学力的に低下した | 1 2 3 |
| ② 相手の言うことが理解しにくかったり、話しについていけないなど、コミュニケーションがとりにくくなった。 | 1 2 3 |
| ③ 最近でさごと約束を忘れるなど、記憶が悪くなった。 | 1 2 3 |
| ④ ミスが增えたり、ひとつのことをしてしていると他のことをうっかり忘れてしまふなど、不注意になった。 | 1 2 3 |
| ⑤ 計画したり、予定を立てることが難しくなった | 1 2 3 |
| ⑥ いろいろなことを自分で判断することが難しくなった | 1 2 3 |
| ⑦ 同じ失敗を何度も繰り返すようになった | 1 2 3 |
| ⑧ 考えたり行動したりすることが遅くなった | 1 2 3 |
| ⑨ ことどもつぽくなくなったり、すぐ家族に頼るなど依存的になった | 1 2 3 |
| ⑩ ささいなことでも怒り、感情が爆発するようになった | 1 2 3 |
| ⑪ なにか欲しいと我慢できないようになった | 1 2 3 |
| ⑫ 相手がどんな気持ちか分からなくなったり、人づき合いが苦手になった。 | 1 2 3 |
| ⑬ 気になる事があると、いつまでも繰り返すなど、物事にこだわようになった | 1 2 3 |
| ⑭ あきつぽくなり、持続することが難しくなった。 | 1 2 3 |
| ⑮ 家族に言われないとポーンとしていているなど、意欲が低下した。 | 1 2 3 |

問 26 上記のような後遺症状に関して訓練を受けたことは：
 1 十分な訓練を受けた 2 少し訓練を受けた 3 訓練を受けたことはない 1つに○

問 27 上記のような後遺症状に関する知識は：
 1 よく知っている 2 少し知ってる 3 ほとんど知らない 1つに○